

日本工芸会
保持者賞

まきえぼこ「やけい」
蒔絵箱「夜景」
寺西松太



【漆芸】



朝日新聞社賞

さいゆうき
彩釉器 田島正仁

【陶芸】

文部科学大臣賞

こめおきもの「うみにきく」
穀織着物「海に聞く」
海老ヶ瀬順子

【染織】



日本工芸会総裁賞

ろうひきかえでつくりぞうがんかざりはこ
蠟引楓造象嵌飾箱 丸山浩明

【木竹工】



高松宮記念賞

しょうたいしつぼうち「蒼海」 松本三千子

【諸工芸】



東京都知事賞

とうそかみほり「ふなで」
桐壱紙貼「船出」 杉浦美智子

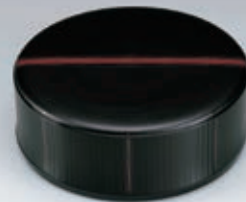
【人形】

NHK会長賞

ちんこくぞうがんこうす
沈黒象嵌合子
「のどさんしょう」
「能登残照」

山岸一男

【漆芸】



日本工芸会
会長賞

たんはぎあわせつぼ
鍛矧合壺
「せん」
「線」

萩野紀子

【金工】



国内最大規模の公募展
卓越した精緻の技と美。
陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門の
入選作品627点の中から、約230点を一堂に展観。



第63回

日本伝統工芸展

THE 63rd JAPAN TRADITIONAL Kōgei EXHIBITION

日本の優れた伝統工芸の保存と後継者の育成を目的に、公益社団法人 日本工芸会が毎年開催する国内最大規模の公募展。

◆3月14日[火]~19日[日] 時間：午前10時~午後6時30分(午後7時閉場)
※最終日は午後3時30分まで(午後4時閉場)

◆松山三越 7階特設会場

主催/愛媛県教育委員会・松山市教育委員会・NHK松山放送局・朝日新聞社・(公社)日本工芸会 後援/愛媛県・松山市

入場料 [税込]

一般・大学生 当日 700円(前売 500円)、高校生以下無料

特別ご優待料金 [税込]

三越伊勢丹カードをご提示の方は
一般・大学生 当日 500円(前売 300円) ※ご同伴者1名さまを含みます。

※()内は前売り及び団体10名さま以上の割引料金。前売券(各当日料金から200円引)は、松山三越7階エムアイ友の会カウンターにて、3月13日(月)までお求めいただけます。

※三越伊勢丹ホールディングス株主さまご優待カード・障害者手帳のご提示で、ご本人さまとご同伴者1名さままで無料にてご入場いただけます。

ギャラリートーク(陳列品の解説:会場内)

- 3月14日[火] <午前11時> 漆 芸/北岡 省三
- 3月14日[火] <午後2時> 陶 芸/酒井 芳人
- 3月15日[水] <午後2時> 陶 芸/竹西 辰人
- 3月16日[木] <午後2時> 陶 芸/白石 久美
- 3月17日[金] <午後2時> 陶 芸/亀田 緑光
- 3月18日[土] <午後2時> 陶 芸/大西 光
- 3月19日[日] <午前11時> 諸工芸/小川 佳都代
- 3月19日[日] <午後2時> 漆 芸/佐々木 正博

※解説者または天候・交通機関等の都合により、予告なしにスケジュールを変更・中止する場合がございます。予めご了承ください。



this is japan.

MITSUKOSHI

松山 千790-8532 松山市一番町3-1-1
TEL/089-945-3111(大代表)

(営業時間)午前10時~午後7時

松山三越

松山

http://www.mitsukoshi.co.jp/matsuyama



第63回

日本伝統工芸展

◆3月14日[火]～19日[日]

時間：午前10時～午後6時30分(午後7時閉場)※最終日は午後3時30分まで(午後4時閉場)

◆松山三越 7階特設会場

主催／愛媛県教育委員会・松山市教育委員会・NHK松山放送局

朝日新聞社・(公社)日本工芸会 後援／愛媛県・松山市

日本伝統工芸展について

昭和25年文化財保護法が施行され、歴史上もしくは芸術上特に価値の高い工芸芸術を国として保護育成することになりました。その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品を広く一般の方々に見ていただくため、日本伝統工芸展を開催してまいりました。伝統は生きて流れているもので、永遠にかわらない本質を持ちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿です。伝統工芸は、決して古いものを模倣しているのではなく、父祖から受け継いだ優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に合わせて新しいものを作ってゆくことが求められております。第63回目を迎える日本伝統工芸展は、昨年に引き続き松山三越を会場として開催し、日本人の生活に根ざした伝統工芸作品約230点を一堂にご紹介いたします。ひとりでも多くの皆さまに、世界に誇る日本の工芸技術の粋をぜひご覧いただければ幸いです。

第63回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

第63回日本伝統工芸展に出品された作品は、平成28年8月2日から8月19日の間、各部門別に開催された第一次鑑査会で、一般の出品作品1,551点のうちから544点を選びました。8月23日に開催の第二次鑑査会において、544点全てを選定、さらに重要無形文化財保持者・審査委員・鑑査委員・特待者の出品作品83点を加え、総合的に鑑査の結果、合計627点を入選作品と決定いたしました。8月24日に審査委員会を開催、受賞候補作品のうちから、日本工芸会総裁賞・高松宮記念賞・文部科学大臣賞・東京都知事賞・NHK会長賞・朝日新聞社賞・日本工芸会会長賞の優秀賞7点、日本工芸会保持者賞1点、日本工芸会奨励賞5点、日本工芸会新人賞3点の各賞を選出してしております。受賞作品につきましては、松山会場にてすべてご覧いただけます。

愛媛県在住入選者・入選作品・コメントのご紹介



せいはいく じちようもんばち 青白磁彫文鉢

径51.0 高11.7cm

彫刻によって表面に緩やかな凹凸をつけました。シンプルだが飽きのこないデザインを心掛けました。

かめだ しげとも
亀田 茂友

伊予郡砥部町在住



つやけし 艶消イッチン ぶどうもんかき 葡萄文花器

径26.5 高38.5cm

立体的な線で描いた文様に光の陰影を誘い、彫りと艶消釉で磁器に柔らかさを表現しました。

しらいし くみ
白石 久美

伊予郡砥部町在住



はくしはち 白磁鉢

径44.0 高23.0cm

今の自分ができる最も美しい「カタチ」を追求しました。

なかや まさたけ
中矢 匡威

松山市在住



せんもんかけ わ ゆうばち 線文掛け分け釉鉢

径46.0 高12.0cm

鉢の平面に線文を施し、釉薬の濃淡により平面の凹凸を表現しています。全体が立体的かつ流線的に見えるように表現しました。

にのみや よしふみ
二宮 好史

伊予郡砥部町在住

※いずれも陶芸部門(五十音順)

伝統工芸に
親子で一緒に
チャレンジ!!

①「絵付けにチャレンジ!!」

②「砥部焼(ランプ)にチャレンジ!!」

※②「砥部焼(ランプ)にチャレンジ!!」は小学4～6年生対象

●参加資格／小学生(保護者の方1名さまは、ご一緒にご参加いただけます。)

●会場／松山三越 7階特設会場 ●日時／3月18日(土)1日限り

①午前10時30分～午後0時30分 ②午後2時～4時

日本工芸会正会員の先生方が、親子向けに簡単な実演も実施しながら直接指導をいたします。(各回抽選で20組)
※参加ご希望の方は、2月14日(火)～27日(月)の期間中にお電話にてご応募の受付をいたします。(午前10時～午後6時)

お問い合わせ：松山三越営業統括部 TEL.089-934-8307 坂本・三浦まで